

# あいち農産物生産流通レポート

平成25年3月号

情報サロン		
・「農商工連携ビジネスフェア」を開催しました	(食育推進課) .....	1
地域トピックス		
・碧南には美人がいる!! —「へきなん美人」の出荷—	(西三河農林水産事務所) .....	2
東日本情報		
・農産物トップセールスと観光物産展について	(東京事務所) .....	3
西日本情報		
・平成24年度 卸売市場活性化実務講座について	(食育推進課) .....	5
フラワーページ		
・首都圏でのフラワーバレンタインイベントとその効果	(東京事務所) .....	7
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場) .....		8
・名古屋・東京市場における青果物の3月の見通し .....		9
花 き		
・切花・鉢花の3月の見通し(県内市場) .....		2 1
輸出入		
・主要農林水産物の輸出入実績(2012年12月) .....		2 5
関連指数 .....		2 6

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

## 「農商工連携ビジネスフェア」を開催しました

生産者や食品製造業者などが、愛知県産の農林水産物やその加工食品を持ち寄って情報交換や商談を行い、新商品の開発や新たな販路の開拓に取り組む「農商工連携ビジネスフェア」を、平成25年2月13日(水)に名古屋市中区のアイリス愛知で開催しました。

また、平成25年1月に中国・上海において開催した販売促進会・商談会「愛知フェア in 上海」の取組を紹介する「農林水産物等輸出促進セミナー」も同時開催しました。

フェアには、80の企業・団体が出展し、会場は700名を超える参加者(生産者、食品会社、流通関係者等)でにぎわいました。



会場内の様子

### 【 内 容 】

#### 1 展示会

##### (1) 県産農林水産物

米、キャベツ、ブロッコリー、セルリー、トマト、いちご、みかん、グレープフルーツ、食用小菊、食用サボテン、牛乳、メヒカリ刺身等

##### (2) 県産農林水産物の加工食品

畜産加工品(名古屋コーチン製品、猪・鹿ソーセージ、ヨーグルト)、豆腐、佃煮、漬物、味噌、みりん、清酒、菓子、麺類等



農林水産物(グレープフルーツ)展示の様子

#### 2 プレゼンテーション

新たな連携先の開拓を目指して、5企業・団体が自社の取組や商品の紹介を行いました。

#### 3 農林水産物等輸出促進セミナー

##### (1) 報告

ア!『愛知フェア in 上海』の成果と今後の取組方向  
イ!「初めての海外出展で得たもの」

(株)かとう製菓 専務取締役 白鳥政人 氏  
小笠原製粉(株) 取締役 小笠原充勇 氏

##### (2) 講演

「あなたも輸出に取り組んでみませんか!」

(独)中小企業基盤整備機構 中部本部経営支援課シニアアドバイザー 大槻恭久 氏



加工食品(佃煮)展示の様子

本年度は、情報交換や商談が一層活発に行われるよう、出展者から商談希望先の業種の意向調査を行うとともに、参加者からも申込時に商談等を希望する出展者を聞き、それらの情報を事前に出展者、参加者双方へ提供しており、各ブースにおいて、熱心に情報交換や商談を行っている様子が見られました。

## 碧南には美人がいる！！ 「へきなん美人」の出荷

今が旬の碧南人参は「へきなん美人」というブランド名で、矢作川河口付近（およそ200ヘクタール）で200戸近い農家が栽培に取り組んでいます。



ジュースにもサラダにも向く  
「碧南人参」



北陸・関西に出荷



JA あいち中央碧南園芸集出荷場

この地域には、伝統野菜である人参「碧南鮮紅五寸」が知られており、大正時代には、工場や学校給食など大口需要向けとして貨車で関東市場に出荷されていました。鮮やかな赤色とほどよい堅さはそのまま現在の「へきなん美人」に受け継がれ、揃いや形がさらに向上し、シーズン中に1万トンの出荷量を見込む冬の代表的な野菜となっています。

JAあいち中央碧南人参部会が取り組む人参作りは、暑い8月の播種に始まります。昨年は9月の豪雨により畝が崩れ、また9月30日の台風17号により、激しくたたかれるなどありましたが、間引き・土寄せなどの管理を続け、現在は立派に育っています。

旬の美味しさを知る地元では、「最も寒い今の時期に収穫された人参は甘みが強く、ジュースにして飲むと美味しさがより一層増す」と言われています。

1月23日の「いいにんじんの日」に因んで、碧南市内のホテル・料理屋・飲食店・洋菓子店ではキャロットケーキ・ゼリー・タルト・蒸しパン・お総菜などオリジナル料理が数多く紹介され、伊勢湾岸自動車道の「刈谷ハイウェイオアシス」や碧南市の「あおいパーク」でも試食会・販売促進会など記念イベントを実施しました。

円筒形に近い形状で、にんじん特有の臭みの少ない「へきなん美人」はジュースやサラダ・煮物にも向き、碧南市内では小中学校・幼稚園・保育園での給食献立にも使われています。

3月までの出荷となります。「へきなん美人」を是非ご利用ください。

「へきなん美人」のお求めは…

伊勢湾岸自動車道 刈谷ハイウェイオアシス  
刈谷市東境町吉野55  
碧南市あおいパーク  
碧南市江口町3-15-3

(入荷が無い場合があります。電話で確認してね。)

お問合せ JA あいち中央営農部碧南園芸課

0566-42-3570



順調な生育を続ける碧南市内のほ場

## 農産物トップセールスと観光物産展について

2月に都内で愛知県をPRする2つのイベントが行われました。1つは2月9日(土)、10日(日)に新宿西口広場で行われた愛知県観光物産展「メグル グルメあいち」、もう1つは2月17日(日)に大崎ニューシティで行われた「あいちの農産物トップセールス in 東京」です。

### 「メグル グルメあいち」

首都圏の消費者の皆さんに愛知県のご当地グルメの名古屋めしや八丁みそ、豊橋ちくわ、地酒などのPRと今年11月に豊川市で開催されるB-1グルメのPRを通じて愛知県への観光誘致を目的として行われました。

イベントの初日には大村知事が開会宣言を行ったのち、会場内で試食の提供など愛知県のグルメのPRを行いました。また、愛知戦国姫隊の演舞や愛知県内の8市町のゆるキャラによるクイズ大会などがあり、大変賑わいました。さらには、料理研究家の長田絢さんによるクッキングショーも行われ、愛知県のことを知ってもらうよい機会になったのではないのでしょうか。物産の販売は県内から知多養鶏農業協同組合をはじめ66事業者が参加し、約160点の商品を販売しました。事業者の1つ「ピピット!あいち」は田原市産のキャベツ、トマト、ブロッコリー、キクなどの農産物も販売しました。担当者によるとキャベツ(150円)は30分、ブロッコリー(150円)は1時間で完売するなど、予想以上の売れ行きに驚くとともに、首都圏での愛知県産農産物の人気を感じたと話していました。



ピピット!あいちのブースを視察する大村知事



知多養鶏のコーナーでPRをする大村知事



## 「あいちの農産物 トップセールス in 東京」

愛知県農産物需要拡大推進協議会が主催する知事による農産物のPRイベントで、今回が5回目の開催です。愛知県の春野菜を集めて品川区大崎にある大崎ニューシティで行われました。今年は首都圏で101店舗を構える量販店ライフの協力を得て行われました。

トップセールスでは大村知事からのあいさつと愛知県産農産物PRの後、来場者にスプレーギクとカーネーションの花束とウズラ卵の燻製が配られました。会場を訪れた女性は「愛知県がこんなに野菜をつくっていることは知らなかった。」とびっくりしていました。知事のトップセールスの後は、愛知戦国姫隊の演舞や野菜ソムリエによる愛知県産野菜（ミニトマト、ブロッコリー、スナップえんどう）を使ったサラダの調理実演と試食が行われ、いずれも多くの方で賑わいました。

ライフ店舗では、キャベツ、ブロッコリー、ふき、トマト、大葉、いちご、スナップえんどう等の14品目が並んだ愛知県産野菜のコーナーが設けられました。売れ行きは好調で、特にブロッコリーは補充しても

どんどん売れていき、ライフ大崎ニューシティ店では最終的にキャベツが54%増（対前年同期比）、ブロッコリーが109%増、いちごが67%増の売上になったとのこと。ライフの担当者も集客効果があり売上アップにもつながるよい機会になったと話していました。

首都圏における愛知県農産物のシェアは第4位ですが、まだまだ愛知県産の農産物の知名度は低く、このようなイベントを通じて少しでも多くの方に愛知県農産物を知ってもらいたい機会となったと思います。

\* 東京中央卸売市場における野菜・果実・花の取扱数量（平成23年産）のシェア



大村知事と姫隊の掛け合い



野菜ソムリエによる試食PR



ライフ店舗の愛知県野菜コーナー

## 平成24年度 卸売市場活性化実務講座について

卸売市場のせり人等関係者を対象に、生鮮食料品等の流通等に関する幅広い知識を習得してもらうため、平成25年2月5日(火)に卸売市場活性化実務講座を愛知県東大手庁舎で開催しました。

当日は、卸売市場関係者65名が参加し、株式会社げんきの郷 代表取締役社長の岡部篤男氏を講師にお招きし、「気がつけば「地産地消」～JAアグリタウンげんきの郷の取り組み～」と題する講演をしていただきましたので、その内容を紹介します。



講演する岡部氏

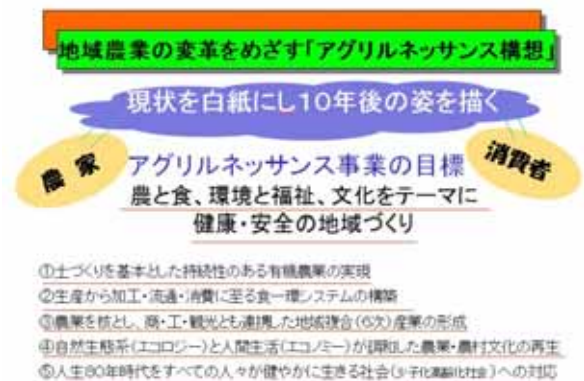
## 1 げんきの郷の現状

- ・JAあいち知多の子会社として、平成12年12月に大府市にオープン。
- ・敷地面積は6.5ha、年間200万人以上が来場(東海3県で第7位)し、通算で2,370万人を誇る。
- ・事業取扱高33億円(うち直売所24億円)
- ・「都市農村交流複合拠点施設」として「農と食」事業を展開している。
 

ファーマーズマーケット「はなまる市」 グリーンセンター「さんハウス四季」 加工施設「できたて館」 和食レストラン「だんらん亭」 スイーツ、カフェ「すくすくヶ丘」	}	直売比率80%以上(日本一)  食の情報発信施設として、地元産の農産物を使ったパン、総菜、スイーツ等を提供。 (若い子育て世代の女性もターゲットに)
--	---	---
- 天然温泉「めぐみの湯」・・・心と体の健康にも対応。
- 体験交流園・・・栽培から収穫、食べるまでの一連の体験を通して「農と食」を理解。

## 2 地域農業の変革を目指す「アグリルネッサンス構想」

- ・10年後の知多地域の姿をイメージし、生産者や消費者代表、学識経験者を交えJAあいち知多が構想を策定。
- ・げんきの郷では、構想実現に向けて、農産物を販売から加工・流通・販売・消費まで「農と食」事業を展開しており、今後は、農業・農村文化の再生を目指していく。



「アグリルネッサンス構想」

### 3 「地産地消」による農業の活性化

・地域農業の活性化に向けて取り組むべき振興方策は、立地条件や環境条件により異なるべき。げんきの郷周辺は、都市近郊農業だからこそ「地産地消」に取り組んでいる。

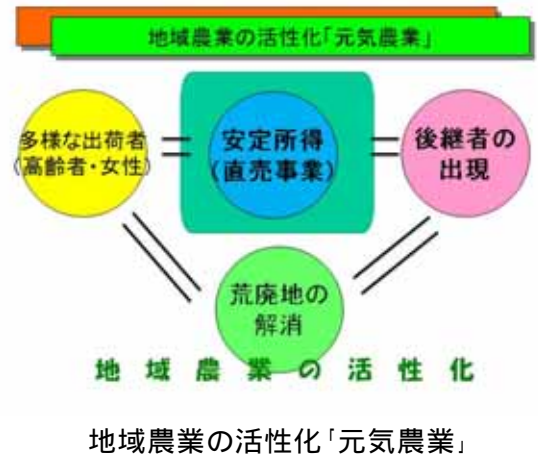
・直売事業(はなまる市、さんハウス四季)には、現在約 650 名の農家が参加。

・高齢者や女性が多く、直売事業を通して雇用の機会創出や所得の確保、(一定の収入が確保できることにより)後継者の確保、(直売向けの農産物を生産することにより)荒廃地の解消に繋がっており、地域農業を元気にしている。

・一般的に、直売所には、市場へ出荷されなかった 2 番手、3 番手のものが集まってくるから安いと以前は言われていたが、げんきの郷では、厳しい出荷基準を設けて、「良質」で「安全」な農産物を供給・販売している。

・また、直売での売上高の 1 % (年間約 2,000 万円)を安全対策基金として創設し、出荷される農産物の検査や残留農薬の検査等の費用に当てている。

・だから、「安価」ではなく「(農家が農業を続けることができる、消費者が安心して購入できる)安定価格」での販売に取り組んでいる。



### 4 「地産地消」から「知産知消」へ

- ・「地産地消」は、知多で採れたものを知多で消費すること。
- ・地域の農家の知恵や技術、能力を結集していく。
- ・生産者、消費者に情報発信をする。(知らせる、知ってもらう。)
- ・積極的に交流イベントを展開し、相互理解 ファンをつくる。

### 5 まとめ

農家が生産した農産物をJAが集荷し、市場へ出荷することはJA事業の根幹であり、卸売市場は農家にとってなくてはならない存在である。

農家(特に、高齢者や女性)は、直売所に出荷する程度の数量なら生産から販売まで何とかやるが、大量の農産物を出荷する場合、農家自身で販売までは手に負えない。市場出荷は農家が最も頼りにしており、今後も変わらない。

卸売市場、産地直売所、それぞれの立場で役割を果たしていくことが重要。地域の農業、本県の農業、日本の農業のために、これからも共に頑張っていきましょう。



## 首都圏でのフラワーバレンタインイベントとその効果

ここ数年、花業界では、新たな物日づくりの取組としてフラワーバレンタインの推進に力を入れています。海外では、バレンタインデーは「男女がお互いに愛や感謝を伝えあう日」であり、男性から女性へ花を贈るのがスタンダードということです。これに倣い、全国各地で様々な取組が行われていますが、都内での取組を紹介します。

### フラワーバレンタインの認知度

はじめにフラワーバレンタインの認知度ですが、花をもらえる行列に並んでいた女性は、「花がもらえればうれしいよね。」と語るものの、フラワーバレンタインについては、「そんなのがあるんだあ」といった感じで、全く知らなかったとのことでした。

### 配布などのイベント

フラワーバレンタインのPRのため、様々な場所で花のプレゼントが行われ、銀座でも約4,000本の花が配布されました。主催者は、「本当はもっと男性にもらって欲しいんだけどね」と約8割が女性の列に向かってつぶやいていました。しかし、「とにかくフラワーバレンタインを知ってもらうことが大切」と語り、認知度のアップを図りたいとのことでした。また、葛西市場の(株)フラワーポートの買受人と一緒に近隣の駅前でも男性に的を絞りフラワーバレンタイン用の花をプレゼントしました。

さらに、銀座ソニービルに隣接する数寄屋橋公園では、イベントが開催されました。フラワーバレンタインをもっとたくさんの人に知ってもらおうと、バイオリンによるイメージソングの演奏があり、エンディングには、どこからともなくスーツ姿の男性が現れ、前列にいた女性達へ花を贈るというサプライズもありました。

### 市場が感じたフラワーバレンタイン効果

市場担当者によると量販向けの商材が増え、バラとカスミソウのセットが好調だったとのことでした。また、認知度も徐々に高まり、当初チョコレートにちなんで茶系の商材が好まれましたが、最近では、多種多様になっているとのことでした。これらの商品は大人向けの高価なものがほとんどで、子供向けの低価格帯の商材も必要であるとのことでした。



銀座ソニービルの前の特設ブース



新宿駅での配布の様子



# 愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内  
 や や : ± 3 ~ 5 % 台  
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台  
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

## 名古屋市中央卸売市場（品目：ふき）

	入 荷 量 ( t )		卸 売 価 格 ( 円/kg )		前年の主な他産地 ( 上位 3 産地 )
		うち愛知産		うち愛知産	
2 4 年実績	1 4 0	1 3 4 ( 9 7 % )	3 1 3	3 1 2	岐阜 ( 3 % )
2 5 年見通し	1 4 0	-	2 7 0	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知産がほとんど。県内産地は知多市中心で稲沢市からは若干。                  促成ふきに切り替わり、2月下旬から本格出荷となる。生育は順調で2L率もそこそこ見込まれる。寒さ対策をおこなったため、2月は少なかった前年に対して入荷量は多かった。                  入荷量は前年並み、価格は高かった前年を大幅に下回り平年並みとなる見込み。</p>			<p>品種は愛知早稲、愛経2号。愛知早稲は育成がよく、愛経2号は耐病性が強い。知多では8割くらいが愛経2号に品種を変えている。生産者の高齢化に伴い、重労働であるふきの生産者は減少している。一般向け需要も、手間のかかる調理を避ける若い人を中心に減少が続いている。調理法を普及するなど消費者の関心を高める取組みが続いている。</p>		

## 東京都中央卸売市場（品目：ふき）

	入 荷 量 ( t )		卸 売 価 格 ( 円/kg )		前年の主な他産地 ( 上位 3 産地 )
		うち愛知産		うち愛知産	
2 4 年実績	2 2 8	2 2 7 ( 9 9 % )	3 3 8	3 3 7	中国 ( 0 % )
2 5 年見通し	2 5 0	-	3 2 0	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>本県産の入荷が大部分を占める。2月上旬から促成ものに切り替わり3月は入荷が本格化する。厳しい寒さが続く中ではあるが、日照量にも恵まれ、比較的順調に生育している。作付面積はやや減少しているが3月は順調な出荷となり平年並の出荷が見込まれ、下旬よりピークとなる。それを受けて量販店では春商材としての特売が増える見通し。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>			<p>本県産のふきは、春商材として、業務だけでなく量販店からの需要もある。特に若い主婦層にむけての家庭でも簡単にできる調理法のPRも重要となる。                  本県産促成ふきは伝統的産地であり、柔らかく、味も良いことから市場評価が高い。安定出荷と切り口の処理など品質保持をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の3月の見通し

名古屋市中央卸売市場

2月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地(%) (愛知産比率)			
				上旬	中旬	下旬	
野菜計	20年	34,903	209	220	208	200	愛知 28%
	21年	35,108	204	198	204	208	北海道 18%
	22年	35,111	213	209	217	214	鹿児島 8%
	23年	34,059	215	216	221	210	静岡 5%
	24年	33,245	247	254	253	239	
	5ヵ年平均	34,485	218	-	-	-	
	25年見通し	34,200	206	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>葉物、果菜類は日照不足と低温の影響で生育遅れ。土物は北海道の貯蔵物と他産地の春物が出てくる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							
だいこん	20年	1,509	91	102	85	84	静岡 29%
	21年	1,698	81	74	76	92	千葉 20%
	22年	1,741	89	74	82	114	鹿児島 17%
	23年	1,749	85	81	88	87	長崎 11%
	24年	1,673	140	130	128	165	
	5ヵ年平均	1,674	97	92	92	109	
	25年見通し	1,600	100	110	100	90	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は千葉、静岡中心の出荷となる。静岡、徳島が終盤を迎え、千葉の春だいこんへ移行する時期だが、低温の影響で生育が遅れている。前半は入荷量が少ないが後半は入荷量に戻る見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>							
にんじん	20年	2,087	169	160	170	177	徳島 41%
	21年	2,432	120	120	122	119	愛知 40%
	22年	2,092	96	84	98	104	鹿児島 17%
	23年	2,058	184	148	179	225	中国 1%
	24年	1,922	164	164	170	163	
	5ヵ年平均	2,118	145	134	147	156	
	25年見通し	2,000	160	160	150	180	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>冬にんじんから春夏にんじんへの切替え時期。愛知、鹿児島が残量の入荷と徳島からの入荷がある。徳島はハウスもののため天候の影響はなく、順調な生育。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

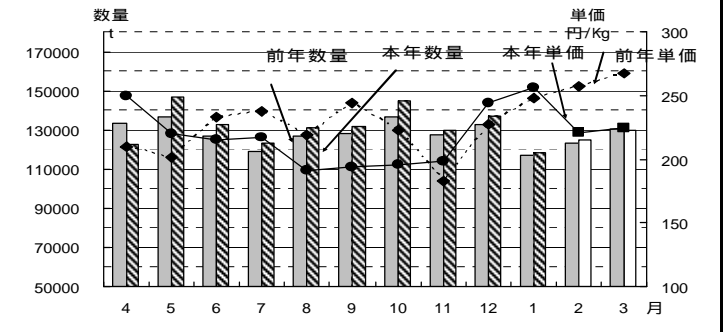
2月25日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)
			上旬	中旬	下旬	
野菜計	20年	130,238	238	250	238	千葉 15%
	21年	128,245	236	231	238	愛知 13%
	22年	130,607	241	234	241	北海道 12%
	23年	128,893	219	228	232	茨城 10%
	24年	130,185	267	270	271	(愛知産比率 13%)
	5ヵ年平均	129,634	240	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	130,000	225	-	-	

**産地状況と  
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

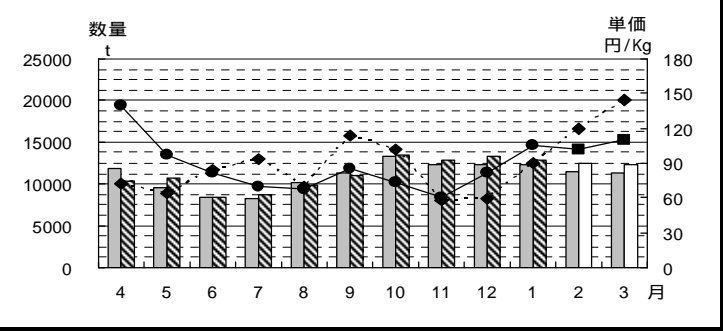
前月に続き関東産地からの入荷が中心で、土物類は北海道からの入荷となる。各産地とも低温が続き生育遅延気味で推移してきたが、2月に入り日照量は確保され回復傾向にある。今後の天候次第だが、各産地からの順調な出荷が期待できる。入荷量は前年並で、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。



だいこ	20年	12,123	86	103	80	74	神奈川 60%
	21年	12,517	71	73	64	76	千葉 34%
	22年	12,617	86	84	76	99	徳島 2%
	23年	12,881	79	82	86	71	鹿児島 2%
	24年	11,311	145	140	135	155	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	12,290	92	96	88	95	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	12,300	110	110	110	110	

**産地状況と  
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

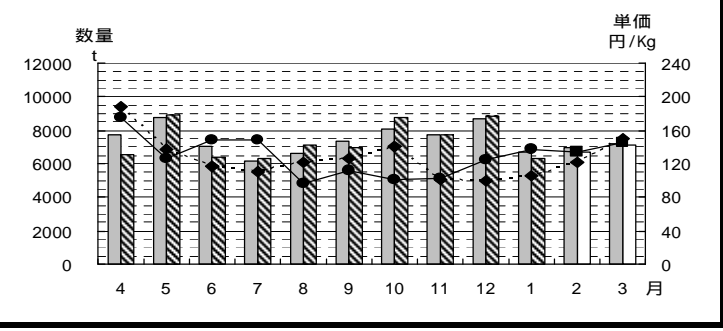
前月に引き続き関東産地からの入荷がほとんどを占める。神奈川は適雨もあり肥大が進み順調出荷の見込み、千葉は低温の影響でやや遅れ気味。入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。



にんじん	20年	6,830	189	189	189	188	千葉 54%
	21年	7,862	133	143	130	127	徳島 22%
	22年	8,086	94	89	89	104	埼玉 7%
	23年	6,777	193	169	196	213	鹿児島 6%
	24年	7,187	150	149	155	147	(愛知産比率 4%)
	5ヵ年平均	7,348	149	148	152	156	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	7,100	145	145	145	145	

**産地状況と  
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

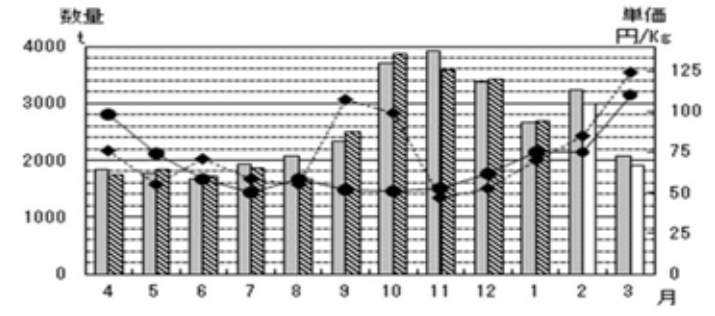
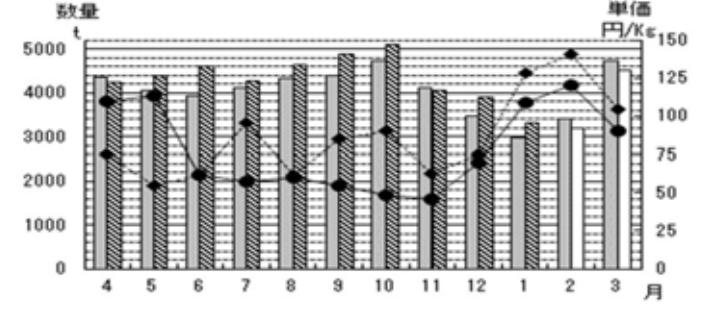
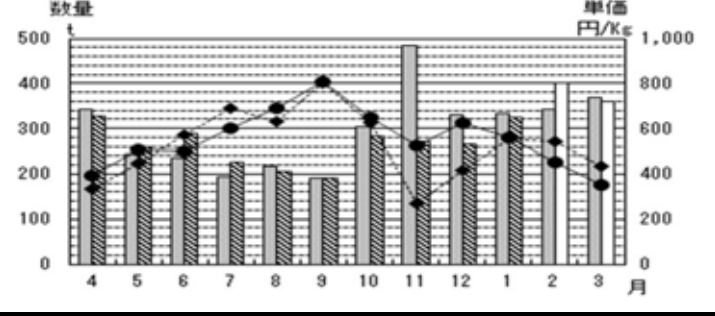
前月に続き千葉を中心とした関東産地からの入荷が多く、徳島からの入荷も始まる。千葉は終盤を迎え不作傾向で残量は少ない。一方、徳島の生育は順調で推移している。入荷量は前年並が見込まれ、価格は前年をやや下回る見込み。





名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほう き さい	20年	2,074	112	114	106	長崎 34% 兵庫 31% 愛知 23%	
	21年	2,096	103	92	111		
	22年	2,281	77	67	86		
	23年	1,991	104	81	109		
	24年	2,071	124	115	146		
5ヵ年平均	2,103	103	93	111	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
25年見通し	1,900	110	100	110			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			 <p>数量 t 単価 円/kg 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p>				
産地は愛知と長野、兵庫が中心。春はくさいは長崎が中心。低温の影響で一週間遅れの入荷。暖くなれば消費が鈍る。入荷量は前年をかなり下回り、単価は高かった前年をかなり下回る見込み。							
キャ ベ ツ	20年	3,928	93	108	98	79	愛知 96% 兵庫 2% 鹿児島 1%
	21年	3,869	85	77	83	93	
	22年	4,036	83	86	78	86	
	23年	4,466	89	88	103	79	
	24年	4,731	104	96	108	112	
5ヵ年平均	4,206	91	91	95	90	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
25年見通し	4,500	90	100	90	80		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			 <p>数量 t 単価 円/kg 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p>				
産地は愛知中心で、兵庫が若干ある。1、2月の低温の影響により、生育遅れ。3月に気温が上昇すれば順調な入荷となる見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							
ほう れ ん そ う	20年	532	218	332	159	173	愛知 80% 茨城 6% 徳島 6% 群馬 2%
	21年	378	345	272	371	410	
	22年	363	381	234	441	582	
	23年	392	272	191	346	305	
	24年	367	435	435	415	482	
5ヵ年平均	406	320	295	331	371	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
25年見通し	360	350	350	350	350		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			 <p>数量 t 単価 円/kg 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p>				
産地は愛知が中心。冬系は終盤を迎える。天候の影響で低温なら減少傾向にあるが日照時間が増えれば増加する見込み。入荷量は前年並みで、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうろくさい	20年	6,891	111	103	114	121	茨城 44%
	21年	7,509	98	86	92	119	兵庫 35%
	22年	8,686	59	44	56	85	群馬 12%
	23年	8,889	96	76	110	106	長崎 6%
	24年	9,415	125	116	130	131	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均 25年見通し	8,278 8,500	98 100	85 100	100 100	112 100	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>茨城が入荷の中心となり、兵庫、群馬がそれに続く。茨城は3月出しは低温のため遅れて少ない。兵庫は貯蔵ものが中旬から始まるが、昨年と比べ少ない見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>							
キャベツ	20年	15,244	104	116	108	92	愛知 74%
	21年	15,702	98	90	100	103	千葉 13%
	22年	16,757	97	96	92	104	神奈川 8%
	23年	17,062	102	99	117	91	兵庫 1%
	24年	18,469	115	121	114	112	(愛知産比率 74%)
	5ヵ年平均 25年見通し	16,647 18,000	103 100	104 100	106 100	100 100	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>前月に続き愛知と千葉、神奈川からの入荷が中心となる。愛知は生育順調で作付増もあり安定的な出荷が見込まれる。神奈川、千葉は低温の影響から品質低下、肥大不足が散見される。 入荷量は総体で前年並で、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>							
ほうろくそう	20年	1,912	289	322	260	283	群馬 28%
	21年	1,498	402	409	393	403	茨城 24%
	22年	1,619	403	313	453	486	千葉 20%
	23年	1,383	358	310	430	367	埼玉 17%
	24年	1,615	390	377	359	428	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均 25年見通し	1,605 1,600	365 370	346 370	379 370	393 370	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地からの入荷がほとんどを占める。茨城、千葉、群馬ともに年末から低温傾向で生育遅れが続いていたが、ここに来て、日照量も多く回復傾向で遅れを取り戻しつつある。 入荷量は前年並を見込み、価格は前年をや下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

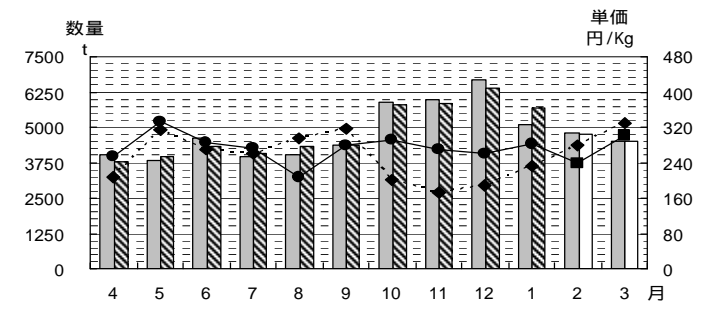
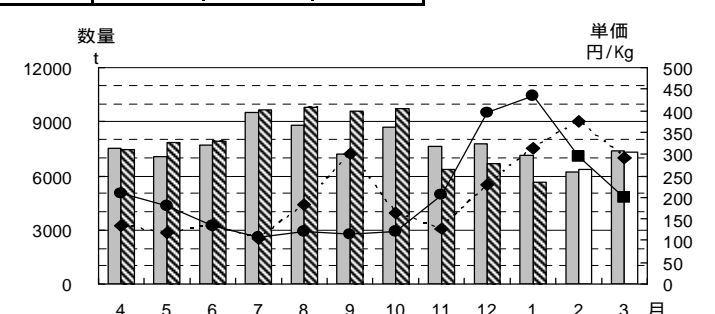
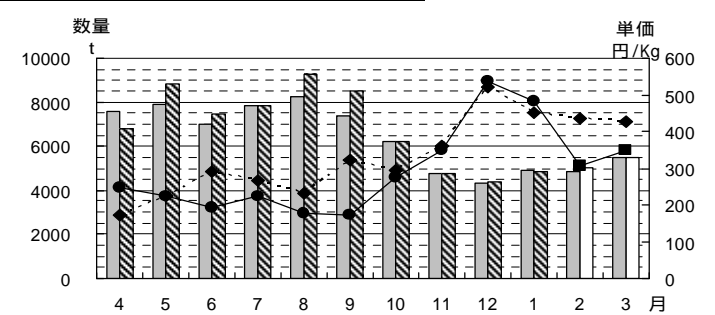
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	20年	889	446	463	448	427	愛知 25%
	21年	962	283	303	277	269	大分 23%
	22年	905	344	329	364	333	静岡 11%
	23年	931	343	366	338	323	中国 9%
	24年	891	397	415	411	388	
ぎ	5ヵ年平均	915	361	374	366	346	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	900	350	350	350	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知の長ねぎと、大分、静岡、鳥取の白ねぎが中心。白ねぎは生育順調で安定している。 入荷量は前年並み、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
しゅうた	20年	1,897	194	253	197	151	兵庫 38%
	21年	1,632	225	210	225	236	茨城 28%
	22年	1,772	232	206	220	277	静岡 11%
	23年	1,503	193	186	202	191	熊本 11%
	24年	1,461	323	370	314	297	
ス	5ヵ年平均	1,653	231	243	229	228	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,500	300	320	300	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は茨城、兵庫が中心。他に熊本、静岡。茨城は雪の影響で出荷遅れ。兵庫は雪と低温の影響のため出荷が遅れている。3月上旬は品薄だが中旬からは増加する見込み。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>							
きゅうり	20年	1,580	259	271	267	242	愛知 53%
	21年	1,349	369	511	385	275	宮崎 17%
	22年	2,316	221	166	233	276	高知 13%
	23年	1,470	242	291	255	197	群馬 9%
	24年	1,234	419	446	532	351	
り	5ヵ年平均	1,590	288	312	316	266	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,260	316	350	300	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は愛知が中心で他に高知、宮崎、群馬。1、2月の低温の影響と品種代わりの時期のため入荷量は少ない。中旬、下旬につれ増える見込み。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>							



東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	20年	4,320	381	373	382	388	千葉 48%
	21年	4,829	183	215	160	170	埼玉 23%
	22年	4,434	317	317	329	301	茨城 11%
	23年	4,285	285	313	323	221	群馬 7%
	24年	4,532	330	369	367	276	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,480	297	317	312	271	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	4,500	300	300	300		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>関東産地からの入荷が中心となる。千葉は、2月の好天で生育は順調で、太物比率が高まり、潤沢な出荷が見込まれる。茨城は秋冬ものの終盤で3月いっぱいではぼ終了。 入荷量は多かった前年並が見込まれ、価格は高値の前年をかなり下回る見込み。</p>					
しそ	20年	8,231	179	235	178	132	茨城 37%
	21年	7,166	208	202	211	210	静岡 20%
	22年	8,009	207	186	194	249	香川 9%
	23年	7,668	160	171	173	135	兵庫 7%
	24年	7,340	291	328	269	275	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	7,683	208	224	205	200	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	7,300	200	220	200	180	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>静岡、香川に代わり、茨城からの入荷が本格化してくる。茨城は現況、小玉傾向であるが回復しつつある。静岡、香川は低温の影響が大きく、総じて出荷量は少なめが見込まれる。 全体の入荷量は前年並となり、価格は高騰した前年を大幅に下回る見込み。</p>					
きゅうり	20年	6,530	273	282	274	265	群馬 20%
	21年	5,806	398	542	396	311	埼玉 19%
	22年	5,780	392	388	488	313	宮崎 18%
	23年	6,230	234	296	260	163	千葉 15%
	24年	5,491	426	454	535	426	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	5,967	340	392	391	296	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	5,500	350	340	350	360	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>関東産地からの入荷が中心で、宮崎からも入荷する。各産地とも春作は定植遅れとその後の寒さにより出荷が遅れていたがここにきて、好天も多いことから回復してきている。 入荷量は前年並の見込みで、価格は高値の前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	20年	845	318	325	319	313	熊本 50%
	21年	638	360	351	387	351	愛知 46%
	22年	719	330	312	339	337	高知 4%
	23年	829	309	341	324	280	福岡 1%
	24年	607	377	371	388	378	
す	5ヵ年平均	727	336	338	347	328	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	720	350	340	360	360	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は愛知、熊本が中心。ハウス内でも生育が悪く入荷量は少なめ。今後、気温が上昇し日照時間が長くなれば、生育が回復し後半に若干増える見込み。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年をやや下回る見込み。					
マ	20年	1,191	329	312	322	347	熊本 44%
	21年	1,007	419	415	446	407	愛知 33%
	22年	1,022	389	349	396	423	三重 13%
	23年	1,222	299	318	305	278	岐阜 7%
	24年	1,053	501	503	503	504	
ト	5ヵ年平均	1,099	383	376	390	387	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,070	380	360	380	400	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は愛知、熊本、三重が中心。3月から春物に切り替わる。低温の影響で上旬は入荷量は少ないが日照時間が長くなれば入荷量も徐々に増加する見込み。 入荷量は前年並み、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。					
ミ	20年	248	680	673	704	668	熊本 53%
	21年	227	791	821	925	694	愛知 34%
	22年	293	695	695	715	679	和歌山 9%
	23年	315	595	668	597	542	
	24年	294	825	942	850	731	
ト	5ヵ年平均	276	713	758	749	659	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	280	700	700	700	700	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は熊本、愛知が中心。各産地とも着果は悪くない。1、2月は低温の影響のため少なかったが、暖かくなってもさほど増えない見込み。早晩果は生育順調。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。					

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	20年	3,299	370	383	396	343	高知 59%
	21年	2,717	418	425	440	400	福岡 18%
	22年	2,596	402	367	421	417	熊本 9%
	23年	2,933	352	407	370	299	佐賀 6%
	24年	2,443	446	420	466	452	(愛知産比率 -%)
	5カ年平均	2,798	395	400	419	382	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	2,500	400	400	400	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に引き続き西南暖地からの入荷が中心となる。各産地とも低温が続いているが樹の状態は前年よりも良好である。ここきて好天の日も多く花着きも良い。このままいけば順調な入荷が期待できる。 入荷量は前年並を見込み、価格は高値の前年をかなり下回る見込み。</p>					
ト マ ト	20年	6,065	365	344	363	385	熊本 27%
	21年	5,052	478	473	493	473	栃木 21%
	22年	5,487	440	405	450	463	愛知 12%
	23年	6,167	322	356	348	270	福岡 5%
	24年	5,445	544	544	549	541	(愛知産比率 12%)
	5カ年平均	5,643	425	424	441	426	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	5,500	400	400	400	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き熊本、栃木、愛知からの入荷が中心となる。各産地とも低温、曇天のため現況出荷ペースは鈍いものの、月が変われば前年並の出荷が期待できる。熊本からの入荷は月末から本格化する。 入荷量は前年並の見込みで、価格は高騰した前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	20年	918	668	649	681	673	熊本 34%
	21年	910	786	848	945	659	愛知 25%
	22年	1,092	690	700	720	406	千葉 11%
	23年	1,237	531	631	558	422	宮崎 10%
	24年	1,181	859	1,011	896	733	(愛知産比率 25%)
	5カ年平均	1,068	703	768	760	579	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,150	750	800	750	700	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き愛知、熊本からの入荷が中心となる。本県産は冷え込みが厳しく生育は一週間ほど遅れている。熊本は着果不足に数量減が予想されるが作付増で出荷量は前年並となる見込み。全体の入荷量は前年並が予想され、価格は高かった前年をかなり下回る見込みである。</p>					



名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	20年	590	496	542	479	426	鹿児島 42%
	21年	371	802	782	846	788	宮崎 38%
	22年	398	741	716	880	641	高知 19%
	23年	499	545	594	588	483	
	24年	385	810	832	845	707	(愛知産比率 0%)
マン	5カ年平均	448	655	674	698	585	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	450	550	600	550	500	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は西南暖地中心。天候に左右されるが、作柄は良好。暖くなれば入荷量が増える見込み。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。					
ばいしょ	20年	3,753	118	114	113	129	鹿児島 50%
	21年	3,812	131	127	143	126	北海道 49%
	22年	3,467	161	160	167	156	長崎 0%
	23年	2,786	232	201	225	258	
	24年	2,716	164	155	168	170	(愛知産比率 0%)
いしょ	5カ年平均	3,307	157	148	159	162	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	3,000	130	130	130	130	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は鹿児島、北海道が中心。北海道の貯蔵物が終盤を迎え、品質が悪くなるため早めに出荷をし、鹿児島の春物に移行する。鹿児島は離島物が増えてくる。生育は順調。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。					
たまねぎ	20年	5,587	80	77	81	81	北海道 80%
	21年	5,969	83	83	78	86	静岡 13%
	22年	6,309	109	115	117	97	アメリカ 3%
	23年	5,422	120	126	132	106	愛知 2%
	24年	5,163	101	106	104	105	
ねぎ	5カ年平均	5,690	98	101	102	95	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	5,700	85	85	85	85	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は北海道の貯蔵物と、新玉ねぎの静岡、愛知が中心。北海道の計画出荷は2月よりは少ないが、平年よりは多い見込み。静岡は3月が出荷ピークでL玉中心。中国、アメリカは不作で価格高騰のため輸入物が少ない。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	20年	1,916	518	629	485	463	茨城 31%
	21年	1,461	811	847	852	755	宮崎 29%
	22年	1,452	732	719	873	609	高知 23%
	23年	1,734	516	598	609	375	鹿児島 16%
	24年	1,311	799	861	904	690	(愛知産比率 0%)
マン	5ヵ年平均	1,575	658	731	745	578	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,500	600	650	600	550	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>西南暖地からの入荷に加え、茨城からの入荷が増える。茨城は無加温タイプが中旬から始まり、出荷は例年より多い。西南暖地はシーズン後半だが、樹の状態良く潤沢な出荷が見込まれる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ばれいしょ	20年	9,988	102	101	103	102	北海道 72%
	21年	8,989	123	116	130	124	鹿児島 27%
	22年	8,464	156	152	159	156	長崎 1%
	23年	8,884	191	172	189	207	(愛知産比率 0%)
	24年	9,152	138	132	140	143	
いしょ	5ヵ年平均	9,095	141	135	144	146	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	9,300	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷が中心となる。北海道は出荷の終盤であるが、貯蔵ものは発芽リスクが高く荷動きがわるい。鹿児島は作付面積増あり、昨年を上回る出荷が見込まれる。 入荷量は前年並、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	20年	10,940	95	92	96	98	北海道 71%
	21年	11,059	99	92	98	105	静岡 12%
	22年	9,818	142	144	142	141	米国 5%
	23年	10,865	139	142	140	136	長崎 4%
	24年	11,300	108	108	108	108	(愛知産比率 1%)
ねぎ	5ヵ年平均	10,796	116	116	117	118	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	11,000	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷が中心で、静岡からの入荷が増加してくる。北海道は計画出荷の終盤に近づいている。出荷は順調だが現況荷動きは悪い。静岡は寒さの影響で若干遅れ気味だが回復傾向。 入荷量は前年並を見込み、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	20年	11,219	321	315	316	333	フィリピン 23%
	21年	10,735	320	322	318	321	青森 15%
	22年	10,401	319	312	317	330	愛媛 11%
	23年	9,191	353	356	364	344	愛知 9%
	24年	8,472	398	400	389	391	
	5カ年平均	10,004	339	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	9,000	330	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
いちごと、次いで中晩柑の不知火、いよかん、甘夏が中心。りんごは定番品の売場にもどる。円高の影響で例年に比べ輸入物は少ない。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。							
り ん ご	20年	1,896	262	262	261	262	青森 99%
	21年	2,142	223	225	216	226	秋田 1%
	22年	1,766	257	261	258	251	長野 0%
	23年	1,833	244	242	244	245	
	24年	1,323	395	397	401	386	
	5カ年平均	1,792	268	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,700	230	230	230	230	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は青森。中玉が中心で品質は良好。猛暑の影響で着色はやや薄い。品種は赤系はサンふじ、ジョナゴールド、黄色系は王林、トキが中心。寒いと売行きが悪いが3月のお彼岸前後で気温が上がればやや動く。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。							
い ち ご	20年	1,686	852	876	840	841	愛知 55%
	21年	1,393	921	1,036	1,034	770	熊本 24%
	22年	1,283	965	951	1,037	910	鹿児島 8%
	23年	1,428	885	903	975	804	佐賀 5%
	24年	1,190	1,105	1,246	1,169	964	
	5カ年平均	1,396	936	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,250	950	1,010	990	850	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知と熊本が中心。低温と日照不足の影響で生育が止まっているため3月上旬までは入荷量が少ない。3月はいちごの最盛期でピークを迎える下旬頃は気温も上がり生育順調の見込み。品種は主力のとちおとめが減少傾向にあり、ゆめのか、紅ほっぺが増えている。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る。							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	20年	38,945	349	343	349	356	愛媛 17%
	21年	38,540	349	351	349	347	青森 15%
	22年	39,373	326	315	329	333	フィリピン 12%
	23年	32,381	365	394	362	339	熊本 8%
	24年	33,312	418	416	422	415	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	36,510	359	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	37,300	370	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>りんご、中晩柑、いちご中心に入荷する。みかん類は終盤となる。中晩柑の「不知火」「清見」は低温で小玉の仕上がりにあるが、食味は良好である。ともに愛媛が主力で入荷する。 総入荷量は前年をかなり上回り、価格はかなり下回ると見込まれる。</p>					
り ん ご	20年	6,705	258	257	261	257	青森 98%
	21年	7,907	216	210	218	219	長野 2%
	22年	7,230	238	234	240	238	秋田 0%
	23年	7,659	225	223	231	221	山形 0%
	24年	5,048	376	370	381	379	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	6,910	254	250	258	254	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	6,800	250	240	250	250	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森から「ふじ」のCA貯蔵もの中心に入荷する。「ふじ」は産地の在庫は少なかった前年の倍ほどあり、40玉中心で味の揃いは良い。「王林」の産地貯蔵は前年の130%ほどで中心サイズは40・46玉。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年大幅に下回る見込み。</p>					
い ち ご	20年	6,269	923	937	913	918	栃木 31%
	21年	5,368	1,015	1,189	1,071	866	福岡 21%
	22年	4,696	1,024	1,018	1,150	918	佐賀 12%
	23年	5,245	874	970	937	739	茨城 11%
	24年	4,943	1,109	1,228	1,165	1,001	(愛知産比率 3%)
	5ヵ年平均	5,304	984	1,063	1,039	888	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	5,400	1,050	1,200	1,100	1,000	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木中心に福岡、佐賀から入荷する。各産地共に3番果のでまわり。年内のような不足感はなく、荷動きは活性化する。栃木は、低温で引き続き生育遅れが続いている。福岡はガラガラ増量してくる。佐賀は山谷なく出荷が続く。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回るものと見込まれる。</p>					

# 切花・鉢花の3月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 2月27日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実 績	20年	3,358	61	
		21年	3,024	63	
		22年	3,023	63	
		23年	2,537	60	
		24年	1,944	45	
	5ヶ年平均		2,777	59	
	25年見通し		2,000	45	
概要	愛知、三重、沖縄等から入荷。燃料費の高騰で作付は多くなく、上旬の入荷はかなり少ないことが予想される。冷え込みも厳しいため、遅れも発生しており、ピークは彼岸直前となり、上旬は堅調、下旬は軟調で推移すると思われる。				
小 ぎ	実 績	20年	2,772	34	
		21年	2,742	35	
		22年	2,669	34	
		23年	2,498	35	
		24年	2,440	33	
	5ヶ年平均		2,624	34	
	25年見通し		2,500	34	
概要	沖縄中心の入荷。作付は昨年よりも多いが、一昨年よりは少なく、平年作といったところ。作付の色バランスは悪くない。思ったほど気温も上がらず、上旬はやや少なめ感もあるが、彼岸需要には問題ないと思われる。				
カー ネ ー シ ョ ン	実 績	20年	1,642	40	
		21年	1,462	47	
		22年	1,348	47	
		23年	1,636	31	
		24年	1,467	46	
	5ヶ年平均		1,511	42	
	25年見通し		1,550	45	
概要	愛知、和歌山、長野等から入荷。近年重油高から入荷の増加が見込めない状況で、昨年は急激な重油高から抑制出荷となった。今年は産地によるが頑張って安定出荷していただいており、入荷は見込める。他品目の影響もあろうが、3月はそこそそ安定水準の動きとなると思われる。				
か す み	実 績	20年	357	63	
		21年	309	67	
		22年	275	74	
		23年	205	70	
		24年	205	91	
	5ヶ年平均		270	72	
	25年見通し		215	75	
概要	高知、和歌山、熊本から入荷。前半は少なめながらも中旬以降に増加。業務一般需要で活発な動き。特に中旬以降は上から下までの等級で強い動きとなる。品種はアルマイル、マリーベール中心。				



単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
柳	実績	20年	437	182	
		21年	386	188	
		22年	322	212	
		23年	376	160	
		24年	325	215	
	5ヶ年平均		369	190	
	25年見通し		340	200	
概要	高知、愛知、埼玉、静岡、岐阜から入荷。OH、LA、鉄砲ゆり、全般に彼岸に間に合うかやや遅れで、前半は品薄な感じ。相場は彼岸以外の行事も多く堅調。しかしながら、彼岸明けの出荷も数量がありそうで、相場は激しく動く可能性もある。				
洋らん	実績	20年	409	94	
		21年	385	89	
		22年	311	111	
		23年	472	64	
		24年	438	97	
	5ヶ年平均		403	89	
	25年見通し		450	90	
概要	徳島、愛知、高知を中心に輸入物が入荷。入荷量も多いことが予想され、2月程の低迷はないと思われるが引き続き、洋蘭類は苦しい展開となるだろう。卒業式関連の引き合いは若干あると思われる。				
ばら	実績	20年	909	97	
		21年	1,007	94	
		22年	937	108	
		23年	943	94	
		24年	882	97	
	5ヶ年平均		936	98	
	25年見通し		920	98	
概要	愛知、岐阜、三重、和歌山を中心に入荷。需要期に入り、引き合いは強くなる。入荷量は大きく増える見込みはないため、卒業式や歓送迎会等の需要にブライダル需要が加われば、堅調な動きが予想される。				
枝も	実績	20年	1,747	44	
		21年	1,529	46	
		22年	1,543	46	
		23年	1,823	41	
		24年	1,944	45	
	5ヶ年平均		1,717	44	
	25年見通し		1,850	45	
概要	静岡、長野中心にコデマリ、桜が主体として促成物が入荷。卒業、入学式等の需要で引き合いは強くなりそうだ。彼岸需要のシキミは品薄なため、一層引き合いは強い。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カラシ	実績	20年	13,789	551	
		21年	10,378	580	
		22年	8,571	465	
		23年	12,988	357	
		24年	6,311	424	
	5ヶ年平均		10,407	479	
	25年見通し		6,000	400	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。5寸以下のサイズをメインとし、6寸以上はほぼ無し。上旬は少なく下旬頃から増加か。単価も下旬より引合いが出る見込み。                      昨年3月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(77.2%)、2位長野県(20.6%)、3位埼玉県(2.3%)となっている。</p>				
ファレノ	実績	20年	41,043	2,902	
		21年	34,247	3,155	
		22年	37,098	3,011	
		23年	46,318	2,268	
		24年	38,337	3,231	
	5ヶ年平均		39,409	2,881	
	25年見通し		39,000	3,200	
概要	<p>入荷量は増加か。売店での動きもよくなり、出荷が多くなるタイミングでもあり、期咲にもなる為、2月と比べ増加の見込み。3月下旬には需要が増え平均単価も高くなるので動きのある上旬と需要のある下旬に出荷をまとめていただきたい。昨年3月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(61.5%)、2位宮崎県(6.6%)、3位福岡県(6.0%)となっている。</p>				
バラ	実績	20年	97,856	227	
		21年	95,017	217	
		22年	98,165	244	
		23年	100,364	202	
		24年	86,634	226	
	5ヶ年平均		95,607	223	
	25年見通し		90,000	230	
概要	<p>入荷量は増加か。イベント事が少ない時期の為、3.5寸~3寸の小鉢は厳しそう。4寸は花色も増え、特に大輪系、複食系に人気集中しそう。                      昨年3月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(48.0%)、2位岐阜県(47.1%)、3位愛媛県(2.5%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	20年	109,679	188	
		21年	76,721	217	
		22年	95,412	222	
		23年	88,513	212	
		24年	97,785	246	
	5ヶ年平均		93,622	216	
	25年見通し		97,000	240	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。卒業・入学等のイベント需要有り。主に地元愛知県産の4寸、関東の5寸需要に分類される。単価的に高値は出づらいが中値で推移すると予想。動きがあるのは4寸と見込む。</p> <p>昨年3月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(29.0%)、2位奈良(21.0%)、3位埼玉(19.9%)となっている。</p>				
マーガレット	実績	20年	124,021	118	
		21年	100,148	123	
		22年	84,455	142	
		23年	102,357	122	
		24年	78,151	144	
	5ヶ年平均		97,826	128	
	25年見通し		78,000	140	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。全国的に生産数量、特にポット減少しているのが要因となる。卒業・卒園イベントで前半に4寸中心に相場よさそうだが、総じてみると弱含みで推移するのでは。</p> <p>昨年3月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位静岡県(24.9%)、2位愛知県(21.3%)、3位埼玉県(19.3%)となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	20年	64,144	663	
		21年	47,287	711	
		22年	45,928	707	
		23年	38,368	582	
		24年	35,856	752	
	5ヶ年平均		46,317	682	
	25年見通し		35,000	750	
概要	<p>入荷量は昨年並みに減少か。例年と比べ作付量が減ってきている為、数量の伸びは見込めない。3~4寸小鉢も減少。メインは5~6寸での予想。3~6寸まではツボの出荷で依頼したい。</p> <p>昨年3月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(54.2%)、2位岡山県(12.0%)、3位高知県(6.9%)となっている。</p>				

# 主要農林水産物の輸出入実績 (2012年)

## 1 輸入実績

品名	1 2 月						1 2 月 までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	68,212	92.6	7,922,927	125.8	116	135.9	870,033	104	130,760,449	170	150	162
トマト	671	197.9	304,823	263.5	454	133.2	6,436	217	2,296,896	248	357	114
たまねぎ	21,814	71.5	1,241,748	135.9	57	190.1	342,293	92	14,488,383	103	42	113
にんにく	1,569	86.5	292,091	168.6	186	194.8	19,862	103	3,082,014	96	155	93
ねぎ	4,631	107.9	433,690	100.7	94	93.4	52,163	99	5,820,982	115	112	116
ブロッコリー	4,127	288.9	717,811	340.0	174	117.7	49,735	136	7,471,435	127	150	94
結球キャベツ	1,272	90.5	37,155	88.5	29	97.9	33,964	126	1,231,508	145	36	115
にんじん・かぶ	5,111	111.5	177,169	137.3	35	123.1	82,951	104	3,774,053	106	45	103
ごぼう	4,037	84.4	172,464	72.8	43	86.3	48,208	106	2,362,313	73	49	69
えんどう	262	136.1	85,749	150.5	328	110.6	2,599	126	896,756	149	345	118
アスパラガス	937	92.4	700,907	104.8	748	113.3	15,243	124	7,663,597	117	503	94
まつたけ	30	238.0	79,169	202.8	2,604	85.2	1,436	118	5,634,982	99	3,923	83
しいたけ	898	90.5	263,820	107.1	294	118.2	4,584	86	1,463,967	106	319	123
かぼちゃ	16,270	94.6	1,312,627	109.8	81	116.0	125,024	109	8,518,174	114	68	105
果実(生鮮・乾燥)	126,589	97.3	15,255,959	111.6	121	114.6	1,943,048	104	231,687,285	107	119	102
バナナ	70,578	89.6	4,293,081	97.2	61	108.4	1,085,857	102	70,589,804	99	65	97
パイナップル	15,044	111.2	882,793	114.1	59	102.6	174,021	114	10,406,489	111	60	98
レモン	2,734	79.4	315,418	79.7	115	100.4	53,834	104	5,889,350	109	109	105
オレンジ	3,696	95.2	410,137	101.6	111	106.6	130,419	113	12,581,044	118	96	104
グレープフルーツ	12,549	124.1	1,305,549	135.1	104	108.8	151,413	95	13,678,019	101	90	107
メロン	1,938	86.2	190,495	83.3	98	96.7	29,657	90	2,957,009	95	100	106
ぶどう	1,287	115.3	395,946	131.9	308	114.3	21,406	139	4,859,045	151	227	109
キウイ	65	121.9	13,680	173.3	212	142.1	63,970	97	21,892,944	104	342	107
いちご	134	212.0	115,651	209.4	863	98.8	3,509	103	2,890,698	106	824	102
切花(生鮮・乾燥)	5,640	115.0	4,168,971	122.0	739	106.0	47,335	107	34,971,867	113	739	105
鳥獣肉類	124,861	75.2	57,224,354	80.8	458	107.4	1,807,550	97	781,443,095	96	432	99
牛肉(くず肉含む)	36,544	79.9	16,382,198	88.9	448	111.2	515,108	99	220,609,027	105	428	105
豚肉(くず肉含む)	59,257	87.7	31,160,494	87.8	526	100.2	778,861	98	408,681,555	98	525	100
鶏肉	23,097	50.2	5,215,878	42.2	226	84.1	425,330	90	94,788,545	73	223	81
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	162,971	89.0	89,050,611	90.3	546	101.4	1,843,322	102	1,036,962,744	103	563	102
まぐろ類	14,774	94.2	14,580,124	105.1	987	111.6	215,527	106	181,128,860	102	840	96
さば・さんま・あじ・いわし	22,584	106.4	3,951,907	82.9	175	77.9	93,368	88	17,439,928	83	187	95

## 2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	4,123	76.0	1,482,072	62.4	359	82.0	15,054	65	5,812,956	69	386	106
うんしゅうみかん	203	80.3	53,923	102.3	266	127.4	2,424	94	362,983	97	150	103
りんご	3,547	72.5	1,214,537	57.0	342	78.6	9,107	50	3,311,811	51	364	102
なし	65	95.2	30,020	90.2	464	94.8	1,042	181	498,234	167	478	92
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	459,237	131.8	-	-	-	-	2,657,841	118	-	-
緑茶	234	106.1	547,885	109.6	2,343	103.3	2,351	98	5,053,035	107	2,150	109

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

# 関 連 指 数

年 月		消費者物価指数				
		総 合	生 鮮 野 菜	生 鮮 果 物	肉 類	魚 介 類
		全 国 平成22年 = 100				
		愛知県 平成22年 = 100				
全 国	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	24年 8月	99.4	86.8	98.6	99.0	101.7
	9月	99.6	86.9	95.0	99.1	100.6
	10月	99.6	90.5	91.3	98.3	101.1
	11月	99.2	88.0	90.8	98.3	100.2
	12月	99.3	92.8	98.5	98.2	100.7
愛 知 県	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	24年 8月	99.6	89.0	99.4	99.6	102.5
	9月	99.4	88.0	93.6	98.3	99.3
	10月	99.4	92.9	91.2	95.6	101.0
	11月	99.0	91.1	92.0	95.5	100.5
	12月	99.1	94.8	100.5	95.1	101.3

年 月		農業物価指数 (平成22年 = 100)				
		農産物 総 合	米	野 菜	果 実	畜産物
		全 国 平成22年 = 100				
		愛知県 平成22年 = 100				
全 国	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	24年 8月	91.5	105.3	71.3	97.2	102.7
	9月	91.9	107.2	72.5	85.5	101.9
	10月	92.3	112.2	82.6	60.2	101.3
	11月	97.6	112.8	87.8	86.8	101.3
	12月	110.6	114.0	123.5	106.7	104.5
愛 知 県	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	24年 8月	99.6	89.0	99.4	99.6	102.5
	9月	99.4	88.0	93.6	98.3	99.3
	10月	99.4	92.9	91.2	95.6	101.0
	11月	99.0	91.1	92.0	95.5	100.5
	12月	99.1	94.8	100.5	95.1	101.3

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」  
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)														
年 月	品目 単位	うるち 米 (単一品種、 「コシ加」 以外)	キ ャ ベ ツ	は く さ い	ね ぎ	レ タ ス	ば れ い し ょ	だ い こ ん	に ん じ ん	た ま ね ぎ	き ゆ う り	ト マ ト	生 し い た け	りん ご (ふ じ)
		5 kg	1 kg										100g	1kg
22年平均		2,236	158	172	603	419	313	142	314	203	510	615	201	447
24年 8月		2,131	101	167	701	294	299	132	331	271	452	529	152	
9月		2,131	85	136	609	309	290	127	313	241	448	594	167	
10月		2,230	80	131	616	362	247	157	322	214	473	708	187	
11月		2,209	88	122	585	364	284	128	298	208	584	759	174	437
12月		2,191	104	128	553	566	247	130	302	198	644	706	158	442
年 月	品目 単位	み か ん	グ レ イ プ フ ル ー ツ	オ レ ン ジ	い ち ご	パ ナ ナ	キ ウ イ フ ル ー ツ	緑 茶 (せん 茶)	カ ー ネ ー シ ョ ン	き く	パ ラ	豚 肉 (ロ ー ス)	牛 肉 (ロ ー ス)	ま ぐ ろ
		1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g	1 本	100g					
22年平均		604	312	382	143	254	682	603	162	166	326	223	752	479
24年 8月			286	331		200	809	530	153	179	288	223	832	414
9月			269	343		196	751	528	149	177	292	227	811	360
10月			286	340		209	781	516	148	161	297	213	804	375
11月			288	334		211	818	528	149	167	296	211	776	398
12月			305	344	207	206	831	529	145	172	316	224	730	400

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」





## いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 477  
平成25年3月発行  
農林水産部食育推進課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6421